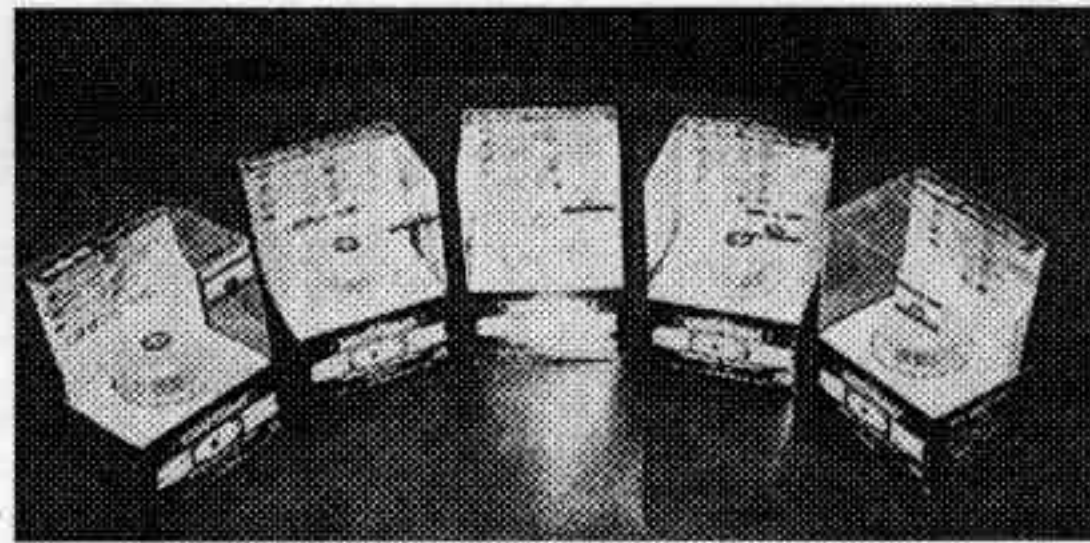


# エポキシ樹脂接着剤

## 三貴物産が事業化

三貴物産(群馬県佐波郡玉村町上新田426、定形政春社長、0270・65・6704)は、エポキシ樹脂接着剤の本格的な事業化に乗り出す。この接着剤は、30〜180度Cの温度範囲ならはく離しないことが特徴。今までの1個1680円の価格を980円まで引き下げ大量生産に踏み切る。このため、専用機を新たに導入して生産能力を上げる他、3年以内に6000万円を投資して物流センターを建設する。これにより、現在の月産1000個を1万〜2万個に引き上げ、同事業のみで初年度1500万円の売り上げを計画。さらに3年後には月産5万〜10万個まで引き上げる。

### 1個980円に下げ 量産へ設備増強



今回事業化に乗り出す接着剤は本業のプラスチック

成形事業に並ぶ柱として、ブレニー技研(伊勢崎市)と共同開発してきた。試作金型の製作や補修に使用するもので材料にエポキシ樹脂とアルミ粉、特殊なクッション剤を混合している。このため、30〜180度Cの範囲で1平方メートル当たり約350キロ、30度Cで同約300キロ、140〜180度Cの範囲で同50キロの引っ張り接着せん断強さを持つ。

事業化に際し、投資額4000万円で充填機、ミキシングマシン、パッケージマシンを導入。また、3年後には最大で月産10万個のパッケージングしたエポキシ樹脂接着剤

生産能力を確保するため物流センターを新設、現在の倉庫660平方メートルの敷地(佐波郡玉村町)を工場に変え設備増設して対応する。

一方、販売については、

本業のルートを使用して量販店の資材館などをターゲットに全国展開していく構え。同時に従業員も募集し、インターネットを使用した販売も本格化する。